

様式 4

平成 29 年度 第 2 回学校関係者評価報告書

鳥取県立八頭高等学校
 学校長 橋本 代里子

評 価 日	平成 30 年 1 月 26 日 (金)	
	評 価 ・ 提 言	学校の所見・改善策等
<p>1. 今年度の自己評価について</p> <p>(1) 重点目標の達成状況</p> <p>○八頭高生らしい態度の育成 (学習と部活動の両立)</p> <p>県内随一の施設を活用した部活動の充実・発展はもちろんのこと、より一層進学実績を上げることにより、八頭郡内中学生の学力上位層を引き付ける学習指導、進路指導を行ってほしい。</p> <p>○八頭高生らしい態度の育成 (自主精神に満ちた活発な生徒会活動)、地域貢献できる人材の育成</p> <p>「八頭高愛し愛され運動」(生徒会による地域貢献活動)の一環として、地域の小学校において書道パフォーマンス・吹奏楽演奏等が披露されている。子どもたちの目に八頭高生はまぶしい存在に映っている。今後とも出張パフォーマンス等を継続して、八頭高生の生き生きとした姿を小中学生に見せてほしい。</p> <p>○自らの進路を決定し、達成する能力の育成 (キャリア形成、進路決定と自己実現)</p> <p>「地元大学進学→地元就職」というキャリア設計を促す進路指導をお願いしたい。高大連携の一層の推進が求められる。</p> <p>○自らの進路を決定し、達成する能力の育成 (各コースの活性化)</p> <p>進学実績の向上、部活動の活性化を進めていくためには、「くくり募集」(2年次でのコース分け)による学力の平準化等が必要ではないか。</p> <p>(2) 説明・公表について</p> <p>特になし</p>		<p>八頭高校の魅力は、勉強を頑張っって国公立大学を中心とした進学を目指しながら、一方では全国大会出場がねらえる部活動にある。学習と部活動の両立が実現できるように、学習・進路・生徒指導を充実させていきたい。</p> <p>「愛し愛され運動」等によって地域貢献・相互扶助の精神を醸成し、地域社会を支える人材育成を目指したい。</p> <p>探究ゼミでは、鳥取大学、公立鳥取環境大学との連携を進めている。将来にわたる主体的学習者の育成のために、今後も連携を進めていきたい。</p>
<p>2. 今年度の県立学校裁量予算による特色ある学校運営の状況について</p> <p>生徒減に伴う教職員数 (とりわけ若年層教員) 減少、予算カットによって、学校経営が難しくなりつつある。生き残りのための方策を全教職員で考えてほしい。</p> <p>3. 取組改善のための提言</p> <p>地域社会、保護者は八頭高校に進学実績の向上を求めている。しかし、保護者と子どもが、早い段階から将来についてしっかりと話し合っているとは言えない場合もある。保護者を巻き込んだ進路指導の充実をお願いしたい。</p>		<p>現在、八頭高校将来構想の策定に着手しているところである。ますます厳しくなる条件下で、八頭高校でしか体験できない教育を模索していきたい。</p>